

吉田島高校
専門学科
設置計画

平成28年10月
神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 吉田島総合高等学校
(2) 位置 吉田島総合高等学校敷地(足柄上郡開成町吉田島281番地)
(3) 実施年度 平成29年度(平成31年度生活科学科設置)

2 設置の目的

これまで総合学科として取り組んできた農業や生活産業の分野の教育活動を継承・発展させ、少子高齢化の進展や生活スタイルの多様化、食育や未病などへの関心が高まっていることを踏まえ、農業に関する学科と家庭に関する学科を併置した専門学科高校として設置する。

農林業や生活産業にかかわる将来のスペシャリストや地域産業を担う人材の育成を図るとともに、県西地域の活性につながる新たな産業等の創出にかかわることのできる創造的な人材の育成を図る。

3 基本的コンセプト

単位制による全日制専門学科の県立高校として教育を展開する。

専門学科の併置による幅広い教育の展開

それぞれの学科の特性をいかしつつ、学科相互の関連を図る学習を可能とするとともに、一人ひとりの進路希望や学習目的に応じることができるよう、単位制による教育課程を編成する。

学科併置の特色をいかした教育活動の展開

これまでの総合学科における園芸デザイン系列、地域環境系列、ライフデザイン系列の特色ある教育内容を充実、発展させるため、農業分野と家庭分野の専門学科として、農・食・環境・健康に関する教育活動を展開する。

農業に関する学科としての学習の取組みと教育の展開

県西地域の農林業を支える人材の育成を図るとともに、これからの都市計画や農村環境整備等を担うことができる人材の育成をめざす。

都市農業科の学科目標

野菜、果樹、作物などの栽培や農作物を活用した食品製造の学びを通して、知識、技術を身に付け、将来、神奈川県農業の特色である都市農業の分野で活躍できる人材を育成する。

食品加工科の学科目標

農産物の生産を通して、食品原材料の特性を理解し、実習及び実験を中心に食品製造・食品化学・食品微生物に関する知識と技術を身に付け、将来、食品産業従事者として活躍できる人材を育成する。

環境緑地科の学科目標

地域資源を活用し、農業土木、造園・草花の知識と技術を身に付け、将来、地域に貢献できるエンジニアや関連産業の従事者として活躍できる人材を育成する。

家庭に関する学科としての学習の取組みと教育の展開

生活科学科において、生活に関する衣・食・住と保育、福祉について知識、技術を身に付ける。2年次からは保育・福祉コースと食物コースに分かれてより専門的な学習を行い、日常生活に役立てることと、専門性をいかした生活関連産業のスペシャリストをめざす人材を育成する。

創造的なプロジェクト学習の展開

県西地域の自然や食材をいかした新たな活力の創出に向けて、学科相互の連携等によるプロジェクト学習の展開を図る。

特別活動等の活性化の充実

それぞれの学科の特性をいかした生徒会活動や部活動、それぞれの学科の教科学習での成果をいかした学校行事や地域との連携を重視した学校行事などを積極的に展開する。

4 設置形態

- | | |
|----------|---|
| (1) 課程 | 単位制による全日制の課程 |
| (2) 学科 | 都市農業科(農業に関する学科)
食品加工科(農業に関する学科)
環境緑地科(農業に関する学科)
生活科学科(家庭に関する学科)(平成31年度設置) |
| (3) 学校規模 | 全日制の課程 480名(12学級規模程度)
都市農業科 120名(各年次40名 1学級規模程度)
食品加工科 120名(各年次40名 1学級規模程度)
環境緑地科 120名(各年次40名 1学級規模程度)
生活科学科 120名(各年次40名 1学級規模程度)
学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定 |
| (4) 修業年限 | 3年 在学年限は原則として6年 |
| (5) 学期 | 2学期制 |
| (6) 履修形態 | 共通教科の科目を中心とした必履修科目及び選択科目による履修 |
| (7) 授業展開 | 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定 |

<日課表> (予定)

	(月) ~ (金)
ショートホームルーム	8 : 3 0 ~ 8 : 3 5
1 校 時	8 : 4 0 ~ 9 : 3 0
2 校 時	9 : 4 0 ~ 1 0 : 3 0
3 校 時	1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 3 0
4 校 時	1 1 : 4 0 ~ 1 2 : 3 0
清掃	1 2 : 3 0 ~ 1 2 : 4 0
ショートホームルーム	1 2 : 4 0 ~ 1 2 : 4 5
昼 休 み	1 2 : 4 5 ~ 1 3 : 3 0
5 校 時	1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 2 0
6 校 時	1 4 : 3 0 ~ 1 5 : 2 0

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集(中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本の方針
高等学校在籍3年以上で、必修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。

専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。
- (2) 教育展開の方針
各学科において、基礎的な科目から発展的な科目を設置し、系統的な専門教育の展開を図る。

生徒一人ひとりの興味・関心、進路希望などに応じて、科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮する。

学科併置の特色をいかした学習の充実と地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。
- (3) 編成の方針
必修科目(各学科共通の専門科目含む)、学科専門科目、選択科目で構成する。

生徒一人ひとりの進路希望や興味・関心に対応するため、学科の専門科目には、多様な分野にわたって、基礎的な科目から発展的な科目まで、幅広く設置する。

県立高校生学習活動コンソーシアムの活用など、学校外での学習成果による単位認定を行う。

集中講座など、柔軟な履修形態による学習活動を展開する。

(4) 教育課程表(予定)

農業科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
農業科	1年次	都市農業科															保健	コミュニケーション英語	家庭基礎	農業情報処理	農業と環境	総合実習	LHR									
		食品加工科	国語総合																			食品製造										
		環境緑地科																				総合実習										
	2年次	都市農業科															音楽/美術/書道	コミュニケーション英語	総合実習	野菜	果樹	食品製造	農業経営	(必修選択) 国語表現 /古典A /地理A /政治・経済 /数学A /食品/植物/イテカ/ロジ- /生物活用 /水循環技術 /造園技術 /森林科学 /食品流通	LHR	デュアルシステム						
		食品加工科	現代文B	世界史A	数学	物理基礎	体育	保健											作物	食品製造	食品化学	食品流通	微生物利用									
		環境緑地科	農業土木コース																	測量	農業土木設計	農業土木施工	水循環				総合実習					
			みどり環境コース																	草花	造園計画	造園技術										
	3年次	都市農業科															課題研究	総合実習	作物	野菜	果樹	農業経営	(自由選択) 国語表現 /政治・経済 /研究数学 /生物活用 /ライフ・スポーツ /音楽 /英語会話 /食文化 /栄養 /植物/イテカ/ロジ- /農業機械 /食品製造 /林産物利用	LHR								
		食品加工科	現代文B	日本史A	数学活用	体育	英語表現												食品製造	食品化学	製菓	食品流通				フードデザイン						
環境緑地科		農業土木コース																	農業土木設計	農業土木施工	水循環	土木計画										
	みどり環境コース																	総合実習	草花	造園技術	環境緑化材料											

生活科学科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
生活科学科	1年次	国語総合			現代社会		数学		化学基礎		生物基礎		体育		保健		コミュニケーション英語		家庭総合			農業と環境			生活産業基礎		LHR						
	2年次	保育福祉コース																	子どもの発達と保育		子ども文化					(必修選択) 国語表現 / 古典A / 地理A / 政治・経済 / 数学A / 食品 / 植物 / アイデア / ロジック / 生物活用 / 水循環 / 造園技術 / 森林科学 / 食品流通		LHR		デュアルシステム			
		食物コース	現代文B		世界史A		数学		物理基礎		体育		保健		音楽 / 美術 / 書道		コミュニケーション英語		生活産業情報					生活と福祉		フードデザイン							
	3年次	保育福祉コース																	子ども文化		子どもの発達と保育		ファッション造形基礎		服飾手芸		(自由選択) 国語表現 / 政治・経済 / 研究 / 数学 / 生物活用 / ライフ・ホーツ / 音楽 / 英語会話 / 食文化 / 栄養 / 植物 / アイデア / ロジック / 農業機械 / 食品製造 / 林産物利用				LHR		
		食物コース	現代文B		日本史A		数学活用		体育		英語表現		課題研究		フードデザイン				子ども文化		子どもの発達と保育		ファッション造形基礎		服飾手芸		(自由選択) 世界史B / 日本史B / 物理 / 化学 / 生物 / コミュニケーション英語 / 森林経営 / 公衆衛生						
																			子ども文化		子どもの発達と保育		ファッション造形基礎		服飾手芸		(自由選択) 世界史B / 日本史B / 物理 / 化学 / 生物 / コミュニケーション英語 / 森林経営 / 公衆衛生						
																		子ども文化		子どもの発達と保育		ファッション造形基礎		服飾手芸		(自由選択) 世界史B / 日本史B / 物理 / 化学 / 生物 / コミュニケーション英語 / 森林経営 / 公衆衛生							

(囲いの数字は単位数)
教育課程表は予定であり、変更することがある。

学科併置の特色をいかした専門科目について

農業に関する学科（都市農業科・食品加工科・環境緑地科）と生活科学科の併置の特色をいかした教育課程を編成し、学科相互の関連を図る学習を可能とするため、学科に共通する専門科目として以下の科目を設置する。

< 学科に共通する専門科目 >

農業と環境

... 農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探究的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を身に付けさせる。

デュアルシステム

... 地域産業や企業等、実社会における産業現場実習を通して、農業や生活産業の分野における実践的・専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を身に付けさせる。

農業に関する学科の主な専門科目について

都市農業科・食品加工科・環境緑地科の新設に伴い、各学科で学習する特徴的な科目として、主に以下のような専門科目を設置する。

< 主な科目 >

課題研究

... 農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身に付けさせる。

総合実習

... 農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付けさせ、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を身に付けさせる。

作物

... 作物の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、作物の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付けさせる。

野菜

... 野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、野菜の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付けさせる。

果樹	...	果樹の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付けさせる。
食品製造	...	食品製造に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と加工方法及び貯蔵の原理を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を身に付けさせる。
微生物利用	...	食品に関連する微生物の利用と培養に必要な知識と技術を習得させ、微生物の特性を理解させるとともに、農業の各分野で微生物を利用する能力と態度を身に付けさせる。
食品流通	...	農産物や農産物を原料とする食品の流通に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と流通構造を理解させるとともに、食品の流通と管理の合理化を図る能力と態度を身に付けさせる。
農業土木設計	...	農業土木事業の計画と設計に必要な知識と技術を習得させ、事業計画の重要性と土木構造物の特性を理解させるとともに、自然環境との調和に配慮した事業を計画し、構造物を設計する能力と態度を身に付けさせる。
農業土木施工	...	農業土木事業における施工と管理に必要な知識と技術を習得させ、農業土木工事の特質を理解させるとともに、各種の工事を自然環境に配慮し、合理的に施工・管理する能力と態度を身に付けさせる。
水循環	...	水を有効かつ継続的に利用するための知識と技術を習得させ、地球上の水循環と環境や生物とのかかわり、人間活動が水循環の中で営まれていることを理解させるとともに、環境保全に配慮し、農業の持続的な発展に活用する能力と態度を身に付けさせる。
測量	...	測量に必要な知識と技術を習得させ、測定機器の特質と地理空間情報の処理と利用について理解させるとともに、環境保全や農林業に応用する能力と態度を身に付けさせる。

草花 ... 草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付けさせる。

造園計画 ... 造園の計画・設計に必要な知識と技術を習得させ、造園空間の持つ機能を理解させるとともに、目的や環境に応じた造園空間を創造する能力と態度を身に付けさせる。

造園技術 ... 造園の施工と管理に必要な知識と技術を習得させ、造園の特質を理解させるとともに、合理的に施工し、維持管理する能力と態度を身に付けさせる。

(5) 学習指導の工夫

知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・対話的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。

自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

専門科目の展開では、実技・実習などの学習活動を充実させるとともに、各自の学習ニーズに応じたきめ細かい指導が実施できるよう配慮する。

(6) 生徒指導等の工夫

特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざす。

生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。

教師と生徒との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

(8) 学校経営

学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の報告をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7 施設・設備の整備

専門学科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

専門学科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256